

# 在宅・施設から新渡戸記念中野総合病院での病理解剖を受けられた 患者さんのご家族へ

新渡戸記念中野総合病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回以下に示す研究では、病理解剖により保管しております検体を使用して病理学的な評価を行います。病理解剖された患者さんの診断後の検体ならびに診療記録を用いた医学系研究を、当院倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや保管されている病理標本を利用するごとをご了解いただけない方は、下記【7 お問い合わせ先】までご連絡ください。

## 【1 研究課題名】

神経変性疾患における在宅・施設でのお看取り後の病理解剖症例の検討

## 【2 研究機関】

新渡戸記念中野総合病院 脳神経内科

## 【3 研究責任者】

内原 俊記（新渡戸記念中野総合病院 脳神経内科 臨床部長・脳神経研究室長）

## 【4 研究の目的】

神経変性疾患は、未だ病態が不明であることが多い、病理解剖を行うことで最終診断や経過中の合併症を振り返ることができるとともに、神経疾患の原因・病態解明にもつながると考えられます。新渡戸記念中野総合病院では基幹病院として、地域との連携を深め、在宅や施設でのお看取り後に病理解剖を行うシステムを作り、実施してきました。今後もさらに、在宅や施設でのお看取りを行う患者さんが増えることを考慮し、この取り組みを加速させるため、本研究では在宅や施設でのお看取り後の病理解剖例について集計し公表致します。その上で在宅・施設でのお看取り後の症例について一般病院でのお看取り後の症例を比較し、いずれでご逝去された患者さんでも、病理解剖には確定診断能力がある、病理解剖を選択することに医学的・社会的意義があることを明らかにする目的です。

## 【5 研究の方法】

2010年9月1日～2025年3月31日で行われた病理解剖において患者さんの生前の年齢、性別、基礎疾患等の背景、臨床診断の情報をもとに集計いたします。病理診断については、

生前の病歴や診察の所見と合わせて、新渡戸記念中野総合病院 脳神経研究室に保管されている標本で行います。

**【6 個人情報の取り扱い】**

研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、収集された試料および診療情報については匿名化し、個人が特定されることがないよう配慮いたします。

<試料・情報の管理責任者>

新渡戸記念中野総合病院 脳神経内科 臨床部長・脳神経研究室長 内原 俊記

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【7 お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

**【7 お問い合わせ先】**

新渡戸記念中野総合病院 脳神経内科 臨床部長・脳神経研究室長 内原 俊記

〒164-8607 東京都中野区中央 4-59-16

病院 TEL : 03-3382-1231

受付時間 9:00～17:00 (祝祭土日・年末年始は除く)